

# 令和7年 丹波市10大ニュース

	項 目
1	丹波市で41.2度を記録 国内観測史上最高気温を更新！
2	第13回全国「道の駅」シンポジウムin丹波・道の駅まつりwithいい丹波を開催
3	たんば恐竜博物館がリニューアルオープン
4	54年ぶりの快挙！丹波市出身プロ野球選手が誕生
5	市有財産の民間活用がスタート（歌道谷用地、旧前山小学校、旧山南中学校）
6	こどもまんなか社会の実現に向けて「こどもまんなか応援サポーター」を宣言
7	さらなる子育て支援として学校給食を無償化
8	「いきいき百歳体操開始10周年記念大会」を開催
9	大阪・関西万博を契機に丹波市の魅力を世界へ発信
10	姉妹都市提携都市ケント市・オーバン市と相互訪問を再開

令和7年 丹波市10大ニュース

	項目及び内容	担当部署
1	<p>丹波市で41.2度を記録 国内観測史上最高気温を更新！</p> <p>7月30日（水）午後2時39分、丹波市で国内観測史上最高となる41.2度を観測しました。危険な暑さが続き熱中症のリスクがさらに高まることから、防災行政無線放送や公式LINEなどで、市内クーリングシェルター（まごころクールスポット）の積極的な利用と、こまめな水分補給、室内での冷房の使用など、命を守る熱中症対策をよびかけました。</p>	<p>健康課</p> 
2	<p>第13回全国「道の駅」シンポジウムin丹波・道の駅まつりwithいい丹波を開催</p> <p>11月1日（土）丹波の森公園で、県内初開催となる「第13回全国道の駅シンポジウムin丹波・道の駅まつりwithいい丹波」を開催しました。参加者・出店者数ともに史上最大規模となり、市内外から1万人を超える参加者が来場。全国35の道の駅のご当地グルメなどを楽しめる「道の駅まつりwithいい丹波」では、市内飲食店を中心としたグルメコーナーもあり、売り切れ店舗が続出するほどのにぎわいとなりました。また、ステージイベントでは、丹（まごころ）のやさしいクイズやご当地キャラクターによる餅まきなどが行われ、道の駅や丹波市の魅力を体感してもらうよい機会となりました（主催：第13回全国道の駅シンポジウムin丹波実行委員会）。</p>	<p>農林振興課</p> 
3	<p>たんば恐竜博物館がリニューアルオープン</p> <p>7月12日（土）、丹波竜化石工房が「たんば恐竜博物館」としてリニューアルオープンしました。面積約1.5倍、展示標本数を約2倍に拡充し、館内には世界で唯一の丹波竜の全身骨格標本をはじめ、丹波竜発見現場を新たに復元した高さ3mの壁面展示、大迫力の角竜類と獣脚類の頭骨、篠山層群から発見された新属新種の恐竜化石など、標本や体験型展示を充実し、こどもから大人まで楽しめる施設として生まれ変わりました。</p>	<p>恐竜課</p> 
4	<p>54年ぶりの快挙！丹波市出身プロ野球選手が誕生</p> <p>10月23日（木）、プロ野球ドラフト会議が行われ、氷上中学校出身で神村学園（鹿児島県）の早瀬 朔（はやせ さく）投手が、阪神タイガースから4位指名を受けました。丹波市出身のプロ野球選手は、元近鉄バファローズの佐々木恭介さん以来54年ぶりです。甲子園や日本代表で躍動した早瀬投手の今後の活躍が期待されます。</p>	<p>総合政策課</p> 
5	<p>市有財産の民間活用がスタート（歌道谷用地、旧前山小学校、旧山南中学校）</p> <p>市有財産を有効活用しさらなる商工業の発展と雇用の確保等をめざして、令和5年度から譲受人を募集していた歌道谷用地（春日町歌道谷）の譲受事業者が、大和特殊鋼㈱に決定しました。また、廃校の利活用に向け事業者のアイデアやノウハウを生かした提案を求めた結果、旧前山小学校は酒や酢の製造・貯蔵施設として10月から榎西山酒造場へ貸し付けを開始、旧山南中学校は木質資源の有効活用のための集積場・研究所として兵庫パルプ工業㈱へ譲渡に向けた手続きを進めています。</p>	<p>商工振興課・資産活用課</p> 

	項目及び内容	担当部署
6	<p>こどもまんなか社会の実現に向けて「こどもまんなか応援サポーター」を宣言</p> <p>こどもや子育て世帯などを地域全体で支えていくため、丹波市こども計画の策定や、丹波市こども家庭センター「おひさま」の開設により、妊娠中から出産、子育て期まで切れ目のないサポートが受けられる体制づくりなどを行いました。また、新たに施行した丹波市こどもの権利に関する条例に基づき、こどもの権利が侵害された際の相談・救済機関として、こどもの権利擁護委員会を設置するとともに、誰もが安心してこどもを生き育てられ、こどもがたくましく健やかに育つことができるまちづくりを目指し、「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行いました。</p>	<p>こども福祉課</p> 
7	<p>さらなる子育て支援として学校給食を無償化</p> <p>さらなる子育て支援策として、市内の小中学校生の保護者負担を軽減するため、中学生及び就学に援助が必要な準要保護世帯の小学生の学校給食費を無償化しました。また、物価高騰による子育て世帯の負担軽減のため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市内の小学校及び県立特別支援学校に通う児童の学校給食費を、令和7年10月から令和8年3月まで免除しています。</p>	<p>教育総務課</p> 
8	<p>「いきいき百歳体操開始10周年記念大会」を開催</p> <p>「いきいき百歳体操」の取組開始から10年を迎え、市内で活動の輪が広がっています。10月4日の「いきいき百歳体操開始10周年記念大会」には、市内202団体のうち55団体の代表ら83人が参加し、10周年を迎えた団体への表彰のほか、神戸大学大学院の沖侑太郎助教による講演「いきいき百歳体操 あなたの一步が未来を作る」、健康運動指導士の森井明美さんによる講演と実技指導などを行い、いきいき百歳体操を通じたフレイル予防について考える機会になりました。</p>	<p>介護保険課</p> 
9	<p>大阪・関西万博を契機に丹波市の魅力を世界へ発信</p> <p>2025年大阪・関西万博を契機として丹波市の魅力を全国に発信するため、各種事業を展開しました。総額1,000万円分の地域電子通貨「万博たんばコイン」が抽選で当たるキャンペーンをはじめ、大阪市内を中心に、丹波市を体感できるリアルイベント「TAMBA FES」を10日間開催したほか、大阪・関西万博の会場にも出展し、日本国内だけでなく世界に向けて丹波市をPRしました。</p>	<p>観光課</p> 
10	<p>姉妹都市提携都市セント市・オーバン市と相互訪問を再開</p> <p>10月6日から11日まで、丹波市姉妹都市訪問団がアメリカ合衆国ワシントン州セント市、オーバン市を7年ぶりに訪問しました。今回の訪問は、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延を受け、途絶えていた自治体交流としての相互訪問を再開し、互いのまちや現地支援者との信頼関係を醸成することを目的として実施しました。両市の市長をはじめ、自治体職員、KAT姉妹都市提携委員会、在シアトル日本国総領事館、兵庫県ワシントン州事務所、現地大学などから温かい歓待を受け、交流する中で顔の見える関係性を築けたことや、行政運営や今後の交流に関して意見交換できたことは、姉妹都市提携を持続可能な取組としていく上で、大きな成果となりました。</p>	<p>総合政策課</p> 